



## 2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月9日

上場会社名 岩崎通信機株式会社  
 コード番号 6704 URL <http://www.iwatsu.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 西戸 徹  
 (氏名) 佐藤 修  
 TEL 03-5370-5111

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	9,509	2.9	580		532		75	
2018年3月期第2四半期	9,788	5.5	606		498		511	

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 88百万円 ( %) 2018年3月期第2四半期 295百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	7.60	
2018年3月期第2四半期	51.72	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	29,069	19,401	66.7
2018年3月期	29,295	19,409	66.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 19,401百万円 2018年3月期 19,409百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		10.00	10.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

期末の配当予想額は未定です。

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	4.2	70	37.8	150	46.8	500	85.8	50.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	10,080,344 株	2018年3月期	10,080,344 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	181,009 株	2018年3月期	184,021 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	9,897,812 株	2018年3月期2Q	9,886,996 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、[添付資料] P.2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
継続企業の前提に関する注記 .....	7
株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
セグメント情報 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用情勢の改善などを背景に緩やかな回復基調が続いているものの、海外経済の不確実性などの影響も懸念され、先行きは不透明な状況で推移しました。

こうした状況の中、当社グループでは中期経営計画「SCRUM 80」の基本方針に則り、成長事業を創設するための活動及び収益力を強化するための開発の効率化と生産コストダウンを引き続き推進してきました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、9,509百万円で前年同期に比べ2.9%の減収となりました。利益面では営業損失580百万円(前年同期606百万円の損失)、経常損失532百万円(前年同期498百万円の損失)となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純損失は75百万円(前年同期511百万円の損失)と前年同期に比べ大幅に改善しました。これは、当第2四半期連結累計期間において、当社における退職金制度統合に伴う退職給付費用461百万円を特別損失として、投資不動産の売却に伴う土地売却益573百万円、建物売却益84百万円を特別利益として、法人税、住民税及び事業税323百万円、繰延税金負債の取崩しによる法人税等調整額の戻入益610百万円をそれぞれ計上したことによるものです。

セグメントごとの状況を示すと、次のとおりです。

#### (情報通信事業)

情報通信事業においては、主に中小事業所向け及び特定顧客向けビジネスホンの売上高が減少したことにより、事業全体の売上高は6,787百万円で前年同期に比べ5.2%の減収となりました。セグメント損益は261百万円の利益(前年同期174百万円の利益)となりました。

#### (印刷システム事業)

印刷システム事業においては、主に印刷機の売上高が増加したことにより、事業全体の売上高は1,272百万円で前年同期に比べ1.0%の増収となりました。セグメント損益は3百万円の利益(前年同期59百万円の損失)となりました。

#### (電子計測事業)

電子計測事業においては、主に航空宇宙関連及び電子部品の売上高が増加したことにより、事業全体の売上高は1,448百万円で前年同期に比べ5.6%の増収となりました。セグメント損益は15百万円の損失(前年同期7百万円の利益)となりました。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、2018年8月31日に公表しました通期の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,156	11,569
受取手形及び売掛金	6,605	4,713
有価証券	200	—
商品及び製品	1,872	2,266
仕掛品	628	732
原材料及び貯蔵品	1,771	1,914
その他	197	144
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	17,424	21,334
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,481	2,405
その他(純額)	2,408	2,364
有形固定資産合計	4,889	4,769
無形固定資産		
ソフトウェア	710	465
その他	45	45
無形固定資産合計	756	510
投資その他の資産		
投資有価証券	3,851	2,123
その他	2,408	365
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	6,225	2,454
固定資産合計	11,871	7,735
資産合計	29,295	29,069

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,594	1,204
短期借入金	80	80
未払法人税等	88	382
賞与引当金	526	532
製品保証引当金	136	111
その他	1,377	1,486
流動負債合計	3,803	3,796
固定負債		
繰延税金負債	1,970	1,358
退職給付に係る負債	3,607	4,142
その他	503	370
固定負債合計	6,081	5,871
負債合計	9,885	9,668
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,025	6,025
資本剰余金	6,948	6,948
利益剰余金	6,273	6,099
自己株式	△168	△165
株主資本合計	19,079	18,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	439	524
為替換算調整勘定	△176	△101
退職給付に係る調整累計額	67	70
その他の包括利益累計額合計	330	493
純資産合計	19,409	19,401
負債純資産合計	29,295	29,069

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	9,788	9,509
売上原価	6,246	6,111
売上総利益	3,542	3,397
販売費及び一般管理費	4,149	3,978
営業損失(△)	△606	△580
営業外収益		
受取利息	7	13
受取配当金	30	25
不動産賃貸料	83	96
その他	63	69
営業外収益合計	185	205
営業外費用		
支払利息	1	1
不動産賃貸費用	57	55
投資有価証券売却損	0	76
為替差損	6	15
その他	12	8
営業外費用合計	77	157
経常損失(△)	△498	△532
特別利益		
土地売却益	—	573
建物売却益	—	84
特別利益合計	—	658
特別損失		
投資有価証券評価損	—	26
退職給付費用	—	461
特別損失合計	—	487
税金等調整前四半期純損失(△)	△498	△362
法人税、住民税及び事業税	22	323
法人税等調整額	△9	△610
法人税等合計	12	△287
四半期純損失(△)	△511	△75
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△511	△75

## 四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純損失(△)	△511	△75
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	208	85
為替換算調整勘定	5	75
退職給付に係る調整額	1	2
その他の包括利益合計	216	163
四半期包括利益	△295	88
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△295	88

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	情報通信	印刷システム	電子計測		
売上高					
外部顧客への売上高	7,156	1,259	1,372	—	9,788
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,156	1,259	1,372	—	9,788
セグメント利益又は損失(△)	174	△59	7	△727	△606

(注) 1. セグメント損益の調整額△727百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△727百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っています。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	情報通信	印刷システム	電子計測		
売上高					
外部顧客への売上高	6,787	1,272	1,448	—	9,509
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,787	1,272	1,448	—	9,509
セグメント利益又は損失(△)	261	3	△15	△831	△580

(注) 1. セグメント損益の調整額△831百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△831百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っています。